

ふじがわ

7月 42. 7. 15 No. 83

町の現況		
面積		31.09km ²
人口	42,711	現在 14,830人
男	〃	7,327人
女	〃	7,503人
世帯数	〃	3,278世帯
町議員数	〃	18人

私たちの郷土、富士川町を犯罪のない明るい町にすることは、町民の願いでもが願うことです。しかし現実の郷土はどうでしょうか、犯罪や事故は後を断たず、青少年の非行化も増加の傾向にあります。

このような状態を改善して、明るい住みよい町にするためには、この問題をどのように考へ、どのようにしたらよいでしょうか。

七月一日から一ヶ月間、行なわれます「社会を明るくする運動」の主旨に関連しながら考へてみたいと思います。

この運動は、昭和二十六年第一回目の「社会を明るくする運動」を法務省が主唱して実施以来、毎年行なわれ今年で第十七回を数へております。この運動が始められた時代は、まだ終戦後の混乱時で世の中のあらゆる面が暗かったのですが、最近御承知のように高度の経済成長に伴い、非常に明るい面が多くなってきました。ただこのなかで一番暗く終戦直後と変わらないのは犯罪です。

このため「社会を明るくする運動」も法務省管下の関係機関で実施してきたのを実施委員会（県においては委員長は竹山県知事）を設けて県民運動、町民運動として活発に展開することとなりました。私たちの町でも中川町長を実施委員長に関係各機関の委員を網ら

— 社 明 運 動 —

愛の力を結集して

稲垣 甲子男



して実施委員会を作り、郷土に即応した運動を行なうことになっていますが、犯罪をなくするという事業（更生保護事業）は理論ではなく町民の一人一人が思いやりのある温い手をさしのべることが目的達成の鍵であると思います。また今年の重点目標は「青少年

更生に励んでいる少年が十人もおります。このことは深く考へる必要があります。

犯罪予防は警察にまかせ、泥棒が入らぬよう厳重に戸締りしたり家を留守にしない等直接防止を行ない、犯罪を犯した者をドン／＼刑務所や少年院に入れてしまふ。これもたしかに犯罪予防の一つです。しかしそれだけでは犯罪はなくなりません。

犯罪は私たちの任んでいる社会からおこるものなのです。だからまず、私たちの家庭、職場、学校や地域に犯罪がおこるような原因を考へましょう。そして、あつたらその原因をとり除くためにみんなが協力しましょう。

青少年の健全育成と環境づくりは社会問題であり、政治、行政の基本でもあります。しかしこの解決は地域の人たちの協力がなければ行政推進の目標すらできません。みなさんの周囲に非行を犯した青少年がいたら、冷い眼で見ないで、温い愛の手を差し伸べて下さい。隣の家に非行少年がいても、うちの子でなかったと安心したり見て見ぬふりをしないで下さい。

唯でも嫌な犯罪、社会で一番暗い犯罪を私たちのささやかな愛の力を結集して一日も早くなくしたいと思ひます。

（庵原地区保護司会長）
原文のまま

性 犯 罪
女性の注意を

夏季は性犯罪の増加するとき。
※ ※

女性の服装は露出部分が多くなり、ぎらつく太陽の下ではまことに健康的です。

が、一方、その服装が男性の「夏の解放感」を一層刺激することにもなるのではないのでしょうか。

女性の心も解放的になる季節だけに、毎日の言動にもとくに注意しましょう。

※ ※

若い女性の場合、海水浴場、キャンプ場等の盛り場へ出かけるときは、女友達と二人連れでなどと気軽に行くことはつつしみたいものです。

保護者、または気心の知れた男性と同伴して行きましょう。

見知らぬ男性から声をかけられるいはドライブに誘われて、うかうかとこれに応じ、泥にまみれた青春に泣くという例があとを断ちませぬ。

※ ※

女性の夜間の一人歩きも、十分気をつけたいもの。

多少遠回りでも明るい道を通るとか、人家のある所を通る工夫をしましょう。

十時過ぎの一人歩きは絶対しないぐらいの気持をおもちください

飛び出すな 車は急に止まらない 夏の交通安全運動 大規模に展開

県では、夏季に交通事故が急増している現状に対して、七月十一日から八月三十一日までの長期にわたり、大規模な交通安全運動を展開します。

これは、例年実施してきた夏休みのこどもの交通事故防止運動を一層発展させ、家庭・学校・職場の交通安全を推進し、自動車運転の安全確保とこどもの事故防止の徹底を図るためです。

運動も五期に分けて、重点活動することになっており、県下の全市町村は、この線に沿い、なお各地の特殊性も含めて活動します。

第一期 母と子の交通安全

(7月11日～7月20日)

○児童の交通安全作文
各小学校ごとに交通安全作文を児童に作成、各学年一編づつを県教育委員会に送付。(優秀作品は表彰)

○交通安全の基礎知識および習慣化の徹底
休暇前に、幼児・児童・生徒に對して、交通安全の基礎知識を徹底させ、合わせてそれが習慣となるよう指導する。

○高校生のヘルメット着用の徹底
二輪車運転免許を所持している高校生に對して、運転する際は必ずヘルメットを着用するよう徹底させる。

○母と子の交通安全教室の開催
夏季休暇前の父兄參觀日等に交通安全についての話し合いを実施

○交通安全教室の開催
各警察署・婦人交通指導員等の

協力のもと、各学校単位に開催。

○高校生の二輪免許取得者講習会の開催
各地域単位に警察署の協力を得て実施する。

○子どもの安全な遊び場の確保と遊びの指導
空地の利用、運動場の開放等子どもの遊び場の確保と遊びの指導を行なう。

第二期 交通安全広報の徹底

(7月21日～7月31日)

○事故多発路線へプラカードの掲出
国道一号线ほか事故多発地点へ掲出する。

○立看板の掲出
各機関、団体、事業所で自主的に作成し、掲出する。

○横断幕の掲出
主要道路の横断歩道橋等に掲出する。

○広報紙への登載
○報道機関による広報
報道機関に全面的な協力を依頼する。

○有線放送による広報
録音テープ等により官公署、事業所等での放送
録音テープ、ソノシート等を使って、交通安全の趣旨徹底を行なう。

第三期 職場の交通安全確保

(8月1日～8月10日)

○安全運転管理者研修会の開催
各警察署単位で開催する。

○運行管理者研修会の開催
陸運事務所で開催する。

○職場交通安全会の結成促進
各事業所ごとに職場交通安全会を結成するよう促進する。

○自主的活動による事故防止パトロールの実施
各事業所、団体ごとに事故防止パトロールを自主的に行なう。

第四期 街頭指導の徹底

(8月11日～8月20日)

○二輪車へのステッカー貼付
街頭指導の際、ステッカー貼付
○横断歩道および横断歩道橋等の利用促進
横断歩道、歩道橋、地下道等の積極的な利用を指導する。

愛の図書等購入用寄付金

募集始まる (一) 協力を

七月。全国各地で「社明運動」——社会を明るくする運動——が行なわれています。

当町では、社明運動実施委員会を組織し、家庭や職場など社会環境を明るくしようと多方面にわたる活動をしています。

この運動の一環として、町更生保護婦人会は「愛の図書等購入用

転車に乗っている人の一斉指導を行なう。

○自転車の街頭点検サービスとステッカーの貼付
関係業界の協力を得て、街頭点検サービスとステッカーを貼付。

第五期 安全運動の総点検
(8月21日～8月31日)
○通学、通園路の点検と整備
新学期前に各校、各園ごとに関係機関、団体の協力を得て実施する。

○街頭における高校生対象の交通補導
街頭で、二輪車・自転車等を対象に学校と警察で共同補導を実施する。

○自主的活動によるヘルメット着用の一斉点検
各機関、団体、事業所で自主的に実施する。

○交通安全の基礎知識および習慣化の徹底
休暇前に、幼児・児童・生徒に對して、交通安全の基礎知識を徹底させ、合わせてそれが習慣となるよう指導する。

○高校生のヘルメット着用の徹底
二輪車運転免許を所持している高校生に對して、運転する際は必ずヘルメットを着用するよう徹底させる。

○母と子の交通安全教室の開催
夏季休暇前の父兄參觀日等に交通安全についての話し合いを実施

○交通安全教室の開催
各警察署・婦人交通指導員等の協力のもと、各学校単位に開催。

○高校生の二輪免許取得者講習会の開催
各地域単位に警察署の協力を得て実施する。

○子どもの安全な遊び場の確保と遊びの指導
空地の利用、運動場の開放等子どもの遊び場の確保と遊びの指導を行なう。

第二期 交通安全広報の徹底
(7月21日～7月31日)
○事故多発路線へプラカードの掲出
国道一号线ほか事故多発地点へ掲出する。

○立看板の掲出
各機関、団体、事業所で自主的に作成し、掲出する。

○横断幕の掲出
主要道路の横断歩道橋等に掲出する。

<南 松 野 地 区>

心配なく ながい用水

南松野は、以前から、夏季に日照りが続く、かんがい用水に不足し、稲作に苦勞していた地区です。

今夏の水不足に、地元から切実な声があがり、町では、これを緊急に解決することを決定、突貫工事により七月四日、取水式を挙行了。

毎秒〇、〇2tの送水を実現させました。

総事業費二百万円。送水は径15cm延長七八〇mの綱管により行なわれています。取水口は温水貯池(原方、原方用水組合)の分水槽からで、出水口は、天王前と丸崎用水口の二ヶ所です。



写真 取水式。ハンドルを握る中川町長、緊張の一瞬。

この送水事業の完成により、日照り続きの場合でも、松野地区30haの耕地のかんがいが可能となり、地元の人たちはたいへん喜んでます。

町議会特別委員会

委員 員

- 印 委員長 ○印 副委員長
- 小池川改修特委
- 坪内佐吉 ○古川喜代松 ○市川政男
- 齋藤昌己 ○渡辺清 ○望月好夫
- 齋藤六郎 ○芦川守正 ○太田義雄
- 太田竹蔵
- 高速度路
- 望月亀蔵 ○芦川守正 ○養武司
- 高岡太郎 ○古川喜代松 ○齋藤昌己
- 若月清 ○市川政男 ○太田義雄
- 太田竹蔵
- 公害対策

△貯蓄推進実践地区▽

川 坂 ・ 塚 町 部 落 の 活 動

川坂、塚町部落が、県から貯蓄推進実践地区に指定されてから一年六ヶ月。県下に現在九地区の実践部落が指定されています。

貯蓄といえは、すぐ「金を貯める運動」といわれますが、現在では生活の合理化、明るい生活設計による計画貯蓄をすすめることがねらいとなっています。

- 養武司 ○齋藤昌己 ○桐山良雄
- 古川喜代松 ○望月亀蔵 ○望月好夫
- 若月清 ○鈴木富治 ○太田義雄
- 野義策
- 学校建設
- 太田義雄 ○渡辺清 ○鈴木富治
- 高岡太郎 ○坪内佐吉 ○若月清
- 養武司 ○齋藤六郎 ○芦川守正 ○佐野義策
- 広域都市
- 齋藤六郎 ○太田竹蔵 ○古川喜代松
- 望月亀蔵 ○桐山良雄 ○坪内佐吉
- 富士川用水
- 坪内佐吉 ○芦川守正 ○望月亀蔵
- 渡辺忠作 ○養武司 ○太田義雄
- 構造改善協委
- 渡辺忠作 ○若月清 ○太田竹蔵
- 佐野義策 ○桐山良雄
- (常任委員会等は5月号に掲載)

富士川町では、昭和四十年八月に県下のトップを切って貯蓄推進協議会を結成し、この運動に力をいれてきました。昭和四十一年二月、川坂、塚町部落をモデル部落に指定し、部落ぐるみの活動を進めて来しました。

婦人会支部長の芦川りつ子さんをリーダーに毎月一回の会合、簡

易保険の団体加入や、新学貯金の助行などを行ない、自由貯金だけでも現在二六万円に達しています。また、静岡新聞社主催の斎藤料理教室を利用して、時事問題や料理、栄養の研究、消費生活の合理化、買い物工夫などについての講習会、家計簿の全戸記帳を行ない、近く家計費の分析などを実施。さらに進んだ生活設計の研究会を開くことになっています。

この実践地区の活動には、日本銀行静岡支店や、県庁などから講師、指導員の派遣を得て幅広い活動を続けています。町では、貯蓄推進運動をさらに進めるため、近く小学校四年生以上と中学生に、「こづかい帳」を贈り夏休みの生活指導を行なう予定です。

きびしい暑さ 体に気をつけましょう

きびしい暑さのため、体がだるかったり、食欲がなくなったりします。いわゆる「夏のかぜ」ともいえるものですが、こんなとき食中毒にかかったり、夏かぜをひいたりするものです。

調理や食前の手洗い、食器調理具の清潔、食品の取り扱いなどに十分気を配りましょう。また夜あけ前の涼しさにあわせて寝まきや夜具類を用意すること

も忘れてはいけません。幼児や老人のいる家庭では、とりわけ注意しましょう。

有害指定玩具 煙火「ムーンジェット」

次の玩具煙火は、「静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例」にふれ、有害指定にされました。

- 玩具煙火「ホイッスリング・ムーンロケット」または「ムーンジェット」
- 価格 一個 10円
- 形状 直径8mm長さ70mmのロケットと長さ44mmの発射台とからなり、発射台には5mmの長さの導火線がでている(プラスチック)
- 機能 点火すると、発射台からロケットが発射され、約30m飛ぶが、プラスチック製の発射台が発火の瞬間熱でとけて曲つたりするため、飛ぶ方向が一定しない。

指定理由は、その機能が人体に危険を及ぼし、青少年の健全な育成を阻害する恐れがあることとなっています。玩具、とくに煙火を与えるときは、まわりの迷惑にならないようまた子ども自身もけがにならないよう十分注意してください。

子どもと水泳

自分から泳ごう、と意欲のあるのは小学生三、四年ごろです。この機をのがさないで指導すれば、子どもの上達ぶりは驚くほどです。

本格的に教えるのは、できれば海よりプールの方がよいといわれています。

①顔を水につける練習

全然水に浮かばない子というのは、こわくて顔を水につけられないからです。そこでお風呂にはいるときのように徐々にはいり、両手で水をすくって顔を洗います。

このとき「鼻に水がはいった？」と聞いてみましょう。子どもは「はいらない」と答えるでしょう。ここで、まず子どもの恐怖心の一つがとり除かれます。

次に、安心感をもたせるために水の中で顔を洗い、息を吐かせます。これでどこにも水がはいらないことを知って安心します。

②からだを浮かべる練習

顔を水中につけて手でプールの底ふらにつかまらせ足をプールの底にそって後ろへそろそろと歩かせ「どこまでとどくかな」とやってみさせます。

このまま、耳まで顔をつけるという浮力の中心はオヘソのあたりにありますから、足が浮き上がる感じがわかります。繰り返しやらせま

すと、二十分ぐらいで浮くようになります。

③バタ足と手の練習

足はサカナのシツポにあたるもので、これが前進後退、方向転換の役目になることを理解させます。力をいれず、ゆつたりとバタ足を練習をします。……これでも子どもに泳ぐ自信がきます。

父兄へお願い

静岡鉄道管理局長

例年六月から八月にかけて、幼年の屋外活動が盛んになるにいたが、線路への立入り、置石等の妨害事故が増え、列車の正常運行のうえに憂慮される時期になります。

ここで父兄の皆さんにご注意いただきたいのは、妨害事故のうち最も多い、線路への置石、置ものは13歳以下のこどものいたずらによるものが97%を占めているという事です。

こどもさんには決して線路内にはいらないよう、また踏切道を正しく横断するシツケをぜひお願いしたいのです。

こどもさんのいたずらから、多数の人命が失なわれるか、かわいいこどもさんが列車にひかれるなどという悲惨な事件をひきおこさないよう、日ごろ、くれぐれもご指導ください。

富士川町文化協会演劇部に属する劇団「創炎」を訪れました。創炎(責任者 斎藤博)は、現在、団員を募集中です。この点を中心に話しを伺いました。

同劇団は、型にはまらぬ新鮮な演劇を創造していこうとしており、募集条件も次のような一風変わったものです。

1 年令・性別を問わない

チビちゃんでも、おじいさんでもだれでもよいということですよ。

2 一つのことを情熱をもってやりぬこうとする人

チビちゃんの場合は、保護者にその決意があること。

3 いままで演劇に参加したことのない人

経験者は困るのですが、どうしても入団したいという方は、いままでの経験を白紙にして応募してください。

4 協調性のある人

「炎を創っていきいたい」と思いますが、

ただパンを食うためだけの機械的な生活で満足できるものでしょうか、人間というものは、

自分の内に秘められた個性、可能性を磨いてみたいとだれでも思うことでしょう。

わたくしたちのこの劇団は、その場所を提供しています。あなたの前に、広く門戸が開かれています。

わたくしたちの意図する「演劇」は決して難かしいものではなく「わたくしたちが人と接することと自体に々演劇々があるとする考えを根拠としています。

人でありさえすれば演劇に参加できるとしています。

どうですか、ほかの人たちと協

〈文協紹介〉

演劇部 「創炎」

文字どおり

炎を創るか

調しつつ、一つの「もの」を創っていってみませんか。

一つものが完成されたとき、あなたは、以前のあなたでないことに気づき、驚嘆を感じることに相違ありません。

そうです。この劇団は、個性を磨く道場ですから。しかも、楽しい道場ですよ。

すべて「富士川町」を題材に、紙芝居・人形芝居・パントマイム・児童劇・一般演劇と、なんでも取り組んでいきたいと思えます。

富士川町文化向上のカギを握るのは、あなたです。あなたの手で以前よりも一層演劇運動の炎を起こしてください。

入団のチャンスは今。現団員は三名で、脚本づくりだけで終ってしまっている現状、多くの団員を得て、飛躍しようと思っているときです。

やってみようと思った方は、臆しないで堂々と申し込んでください。あなたの座る席がないなどということは決してありません。

わたくし自身がひどく恥ずかしがりやですから、細心の注意を払うことを約束します。まあ、試しにでもはいってみませんか。

こんな世界もあるのですよ。

◎締切り 八月十五日まで
◎申し込み先 富士川町教育委員会内「文協事務局(池谷九万夫)」あて
電話(例) 一一一一で、氏名、住所をお伝えください。

◎顔合わせ会 八月二十日
ハガキで通知します。

活動時間、その他については入団後、個々面接により、便宜を図るようですよ。